

令和4年大船渡市教育委員会第10回定例会会議録

1 日 時

令和4年10月25日（火） 午後1時30分から午後2時25分まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	遠 藤 和 枝
生涯学習課長	山 岸 健悦郎
教育研究所指導係長	鈴 木 恒 希

5 議 事

議案なし

6 報告事項

（教育次長）

- ① 埋蔵文化財普及活用事業「おおふなと遺跡おさんぽガイド」の作成について
- ② 令和4年度大船渡市立博物館特別展示事業 特別展「シン・大船渡」の実施について
- ③ 令和4年度大船渡市立博物館展示事業 特別展関連講演会の実施について
- ④ 令和4年度大船渡市立博物館教育普及事業 博物館講座の実施について
- ⑤ 令和4年度 大船渡市立博物館 特別展示事業企画展「せきやの洞窟ものがたり～4億年前からつづく関谷洞窟の歴史～」の実施結果について

（学校教育課）

- ① 第4回市内小・中学校長会議の内容について

（生涯学習課）

- ① 令和5年大船渡市二十歳のつどいの開催について
- ② 令和4年度明治大学連携講座の開催について
- ③ 総務省「令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業」初心者スマホ教室の開

催について

7 会議の概要

(教育長)

- ・令和4年大船渡市教育委員会第10回定例会の開会を宣言する。
- ・令和4年第9回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育委員)

- ・第一中学校教育懇談会の出席報告について口頭により報告する。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課係長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長)

- ・小学校の学習発表会、中学校の文化祭に出席したが、子どもたちは、元気に学年ごとに出し物をしていった。感染対策で学年毎に入場制限を行っているため、他の学年に見せることができず、残念だった。

(教育長職務代理者)

- ・県が公表した津波浸水想定で、綾里小学校は5m超えの浸水が想定されている。校舎を新たに高台に作ることは難しいので、最悪の事態を想定した避難訓練の徹底など、子どもたちの命を守るための備えが急がれる。想定外ではなく、想定内になっているので、保護者や地域と連携した避難対応に取り組むことが大切だ。

(指導係長)

- ・最悪の事態を想定した避難訓練は各学校で実施しており、教育委員会にも実施報告書が提出されている。子どもたちの命を守るが一番なので、万全の対応をしていく。

(教育長)

- ・大船渡小学校の浸水想定は、最大で3mか。

(教育長職務代理者)

- ・東日本大震災では、約1.8mで校舎に到達しているので、さらに厳しい予想になっている。

(委員)

- ・綾里地区は過去に何度も津波の襲来を受けているので、綾里小学校ではその教訓を代々の校長に伝えている。

(教育長)

- ・10月29日に県の総合防災訓練があり、大雨で盛川が氾濫、大地震が起こり大津波警報が発令になるという最悪の場合を想定している。あらゆる災害を想定して避難場所を決めるなど、学校にも徹底して避難訓練を実施するよう伝えている。

(教育長職務代理人)

- ・東日本大震災では避難所で毛布などがなく、かなり寒い思いをした。冬季に災害が起きた場合を想定し、毛布などを事前に準備しておくなど学校と市の連携を図りたい。

(委員)

- ・「遺跡おさんぽガイド」に掲載されている場所を巡った。詳細な内容で興味をそそられるようなリーフレットだと思った。国指定の貝塚が3ヶ所あるのは当市だけということで、今後このリーフレットが貴重な資料になる。
- ・スクールバス利用に係る児童生徒の安全管理が各学校で徹底しており、有事の際も対応マニュアルが作成されていて、何かあった場合は即時対応可と確認でき安堵した。

(教育次長)

- ・スクールバスは、こども園の事故の例を受け、ハードとソフトの両面から安全確保に努めている。

(委員)

- ・有事の際、自宅に一人いる場合の避難体制など、どの時間帯に災害が起こるかによって、自分で判断し行動しなければならないことを子どもに認識させるのが大事だ。

(教育長職務代理人)

- ・例えば大船渡小学校では、避難先等について家族で話し合い、その情報を担任が把握している。下校途中や家族がいない時の避難場所についても、予め確認して学校と共有している。

(委員)

- ・中学校になると行動範囲が広くなり、地元だけではなく市内全体の避難場所を知る必要が出てきて、どのくらい子どもたちが知っているか気になっている。

(委員)

- ・ほとんどの学校が登下校時も想定した避難訓練を実施している。特に、低学年はどこに逃げるかを繰り返し訓練することが大事だ。

(教育長職務代理人)

- ・市内は、大船渡小学校と綾里小学校以外は浸水域にはないので、とにかく近くの学校に避難すれば安心だ。

(委員)

- ・中学校が統合になり、生活圏が変化した。中学生になると市外に行くこともある。行動範囲が広くなり成長を実感するが、知らなければならない知識が増えたので、自分でどう判断するかを家庭で教えていかなければと思っている。その時に参考になるマニュアルなどがあればいい。

(教育長職務代理人)

- ・小学校の時から、1mでも高く、1秒でも早く避難するように指導しているので、市外でも周囲を見て高い所に行くしかない。

(教育長)

- ・自分で判断し行動することを身に付けさせるため、学校で指導していかなければならない。

(委員)

- ・市内小中学校におけるリストカットは、件数は多いのか。

(指導係長)

- ・リストカットは、気仙管内で増えてきている。コロナ禍が原因とも言われているが、家庭環境や児童生徒間の問題など様々な要因がある。リストカットで踏み留められればいいが、最悪の場合、亡くなるケースもあるので、問題を共有しながら、適切な対応をするよう校長会議で共有した。

(委員)

- ・リストカットしていた子どもが痛みを感じ、血を見ると生きていることを実感すると話していた。女子が多いようだが、男子もあるか。

(指導係長)

- ・女子が多いが男子もいる。

(委員)

- ・すぐに解決できる問題ではないが、継続して支援してほしい。

(教育長)

- ・二十歳の集いは、内容を変えるチャンスだが変更点は何かないか。

(生涯学習課長)

- ・式典の形式は今までどおりだが、来賓祝辞などを大幅にカットした。昨年も、ステージに上がる来賓の招待者数を大幅に減らしている。今後、実行委員会に諮り、検討していく。

(教育長)

- ・「成人式」という式から、「集い」になったので堅苦しいものではなく、内容を変えるなら今回がチャンスという意味である。地元にいる実行委員が内容を考えて、会を進めるような形でできないものかと思った。

(生涯学習課長)

- ・実行委員には式典という堅苦しい形にとらわれず、やりたいことがあれば提案するように話したが、今までと同様の形となった。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・本日は、議案がない旨説明する。
- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和4年大船渡市教育委員会第10回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員